

学 校 自 己 評 価 の 結 果		令 和 3 年 度 の 活 動 評 価 と 令 和 4 年 度 の 改 善 方 策										
重点事項	努力事項（評価項目）	実践目標	評価内容		A...できた B...まあできた C...あまりできなかった D...できなかった				A...4点 B...3点 C...2点 D...1点			
					A	B	C	D	平均点 満点4	平均点 (R3)		
基本的な生活習慣の工夫・改善を図るため	基本的な生活習慣を確立させる	定時制高校生としての自覚を促し、基本的な生活習慣を身に付けさせる。教職員の共通理解のもとに、生徒の特性や能力など個に応じた生活指導をする。関係機関や家庭・地域の連携のもとに、交通安全指導を実施する。	1 あいさつや敬語など基本的なマナーを定着させる指導をする。	生徒指導部	31.6%	52.6%	15.8%	0.0%	3.2	3.2	生徒の登校時に職員が昇降口で声掛けを行っているため、挨拶については定着できている。授業開始時のベル着席が不十分であると感じるので、来年度以降に改善していきたい。全体的な基本的な生活習慣は年々身に付いてきている。	
			2 時間を守る（登下校、授業の開始など）指導をする。		36.8%	47.4%	15.8%	0.0%	3.2	3.3		
			3 教職員を対象とした生徒指導研修会を計画的に実施し、指導に生かす。		15.8%	52.6%	15.8%	15.8%	2.7	2.4		
			4 生徒理解を深めるために、個別面談等を実施、有効活用する。		57.9%	42.1%	0.0%	0.0%	3.6	3.2		
			5 警察など関係機関と連携し、生徒の交通安全に対する意識高揚に努める。		15.8%	63.2%	15.8%	5.3%	2.9	2.7		
			6 通学マナーの向上のため、立番や巡回などによる指導を徹底する。		57.9%	36.8%	5.3%	0.0%	3.5	3.4		
	7 ホームページや学校通信などを活用し、学校の教育活動や方針、各種連絡事項についての情報を発信し、家庭との連携に努める。	推 I 進 C T 部	学校と家庭や地域社会との連携を密にし、「共に生きる社会づくり」に参画できる精神を培う。	68.4%	31.6%	0.0%	0.0%	3.7	3.7	教員による学校ホームページのブログ更新頻度を見直し、ブログの形式を9月に変更したが、月平均で500回ほどのアクセスをいただいている。学校通信は紙での配布およびホームページへの掲載に加えて、携帯での閲覧が可能な「さくら連絡網」でも配信を開始し、情報発信を強化した。また、他部署と連携し、進路通信やアンケート、警報発令時の緊急連絡なども「さくら連絡網」を通じて行った。プロジェクターなどの備品を増強し、昨年度に引き続きICT機器を活用した授業のための環境整備を行った。来年度はホームページのコンテンツの充実に努める。		
	8 地域貢献事業など、学校と家庭、地域社会と協働した教育活動や行事を計画的に実施する。			総務部	57.9%	31.6%	10.5%	0.0%	3.5		3.2	高校生ふるさと貢献活動事業は、地域住民の方々とともに地域の清掃活動を行えるよう、清掃区域の選定や生徒の配置等準備や調整を行っていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域住民の方々の参加が叶わなかったが、生徒と教職員で普段使っている通学路等の清掃をすることで、地域には貢献できたのではないかとと思う。
基本的な生活習慣の確立と基礎・基本の定着を図り安全で楽しい学校づくりを目指す	分ける授業の定着と向上を図る	生徒の進路希望を実現するため、就業体験事業やHRを計画的に実施するとともに情報提供、個別面談を実施し、未就職者の減少に努める。	9 進路だよりの発行や進路HRの計画的な実施によって、生徒の職業感や進路意識の高揚に努める。	進路指導部	94.7%	5.3%	0.0%	0.0%	3.9	3.4	進路通信については月に1回のペースで、「さくら連絡網」を活用して発信することができた。また、「さくら連絡網」のアンケート調査機能を利用して、保護者と共に生徒の進路実現について情報共有及び提供ができたことは次年度以降も継続していきたい。また、1年では兵庫県版キャリアノートを活用したキャリア教育、2年ではLHRを活用した地元企業を招いての就職ガイダンス、3年では総合的な探究の時間やLHRを利用し、地域の複数機関と連携した進路指導も今年度の新しい取組であった。また、今年度より就業体験事業も2つの施設で実施できた。この取組については次年度以降さらに多様な生徒の進路実現をサポートできる方法を考えていきたい。また、次年度以降の入学はコロナ禍の影響もあり、学校に登校する習慣がより薄くなっていることも考えられるため、進路面でも早期から支援していきたい。	
			10 地元企業などへの会社訪問を計画的に実施し、求人の開拓や情報収集を図る。		94.7%	5.3%	0.0%	0.0%	3.9	3.3		
			11 地域の人材や外部講師を活用するなどした、HRや進路説明会などを実施する。		94.7%	5.3%	0.0%	0.0%	3.9	2.9		
			12 生徒の進路実現に向けて、就業体験事業（年間最低1回）を実施する。		73.7%	21.1%	5.3%	0.0%	3.7	3.0		
	理解しやすく楽しい授業を展開し、生徒が主体的に学ぶ力を培い、学習意欲を高めさせる。	生徒一人一人の個性や能力に応じた指導をおこない、基礎的・基本的な学力の定着と向上を図る。	理解しやすく楽しい授業を展開し、生徒が主体的に学ぶ力を培い、学習意欲を高めさせる。	13 成績処理システムの整備等により生徒の学習状況を把握・分析し、授業に集中できる環境づくりに努める。	教務部	52.6%	47.4%	0.0%	0.0%	3.5	3.3	本年度から全学年で校務支援システムでの成績管理となったことで、高卒程度認定試験などの学校外学修の単位の把握も容易になり、一人ひとりの学習状況にあわせた指導ができるようになった。来年度入学生からの新学習指導要領に向けて、高卒程度認定試験や技能審査の単位認定についても見直した。校内研修や公開授業を行い、全・定交流しながら、さらなる授業・指導法の研究に努めていく。
				14 校内研修や公開授業などにより、授業・指導法の研究に努める。		42.1%	42.1%	15.8%	0.0%	3.3	2.8	
				15 理解しやすく楽しい授業を目指し、研究会・研修会への参加など教科指導や学習方法の工夫・改善に取り組む。		31.6%	57.9%	10.5%	0.0%	3.2	2.9	
				16 確かな学力の定着を目指して、T.T.(チーム・ティーチング)等を活用し、個に応じた学習指導を行う。		68.4%	26.3%	5.3%	0.0%	3.6	3.0	
生徒一人一人の個性や能力に応じた指導をおこない、基礎的・基本的な学力の定着と向上を図る。	生徒一人一人の個性や能力に応じた指導をおこない、基礎的・基本的な学力の定着と向上を図る。	生徒一人一人の個性や能力に応じた指導をおこない、基礎的・基本的な学力の定着と向上を図る。	17 生徒の興味・関心や進路希望に応じた学習活動を実施する。	総務部	36.8%	63.2%	0.0%	0.0%	3.4	3.1	数学科・商業科・英語科でチーム・ティーチングでの指導を行っている。特に英語科では本年度より週に1回、ALTを取り入れた授業を展開し、生きた英語に触れるとともに国際交流への理解を促している。また、商業化を中心に資格の取得も推奨しており、多くの生徒が検定に挑戦し、自信を深めることができた。三修制対象の5校時の授業では、体育のほかに座学も選択できるようになり、生徒の特性に応じたきめ細やかな学習指導ができるようになった。	
			18 3修制の整備を図り、各教科間の連携を深めるとともに、総合的な学習の時間やLHRを利用して、基礎的な学力の向上を図る。		57.9%	42.1%	0.0%	0.0%	3.6	3.4		
			19 生徒の教育活動が安全かつ円滑に実施できるよう、学校設備の点検や整備などを定期的実施する。		36.8%	57.9%	5.3%	0.0%	3.3	3.2		
			20 消防署など関係機関との連携を密にし、避難訓練などの参加型・体験的な教育活動を効果的に実施する。		15.8%	36.8%	31.6%	15.8%	2.5	2.7		
差別のない生命と財産が環境を構築する	阪神・淡路大震災の教訓を生かし、防災教育を計画的におこなうとともに、生徒の防災・安全意識の高揚を図る。	阪神・淡路大震災の教訓を生かし、防災教育を計画的におこなうとともに、生徒の防災・安全意識の高揚を図る。	21 学年行事やHR活動など特別活動を活用して、防災意識や安全意識の高揚に努める。	総務部	31.6%	63.2%	5.3%	0.0%	3.3	2.8	生徒が安全に学校生活を送れるように、学校設備の点検は日々行っている。高砂消防署による防災避難訓練は、4月に予定していたが、新型コロナ感染症の蔓延により、延期となり開催できなかった。10月に、三浦校長による防災講話や1月の震災行事により、生徒一人一人が防災に対する意識を高めることができた。また、ボランティア活動も、県外からの派遣が認められないため活動できずにいるが、他校や全日制と合同、もしくは単独で行けるチャンスがあれば参加したいと思う。	
			22 定期健康診断を計画的に実施し、受検率を向上させ、生徒・教職員の「健康管理」に対する意識向上を図る。		47.4%	52.6%	0.0%	0.0%	3.5	3.4		
			23 生徒・教職員の保健・衛生に関する意識を高めるため、保健講話の実施や配布物・掲示物を作成する。		63.2%	31.6%	5.3%	0.0%	3.6	3.5		
	生徒一人一人の悩みを早期に把握し、楽しく充実した学校生活がおくれるように、「心の健康教育」を充実させる。	生徒一人一人の悩みを早期に把握し、楽しく充実した学校生活がおくれるように、「心の健康教育」を充実させる。	生徒一人一人の悩みを早期に把握し、楽しく充実した学校生活がおくれるように、「心の健康教育」を充実させる。	24 補食（パン給食）を食育やマナー指導の機会と捉え、衛生意識および食のマナーの向上に努める。	保健部	42.1%	47.4%	10.5%	0.0%	3.3	3.0	生徒の定期健康診断の受診率が向上した。更なるアップを目指して、部と各学年団でこれまで以上に連携しながら、引き続き教職員全員であった。保健講話に関しては、LGBTQに対する理解が生徒・教職員ともに深まり、今年度も実りある時間となった。来年度も例年以上の内容になるように、テーマと講師の選定に注力したい。また、新型コロナウイルス対策として実施した、給食の教室内配付、登校時の玄関での手指消毒、徹底した換気、教室内のこまめな消毒等は次年度も引き続き取り組んでいきたい。
				25 生徒や保護者・教職員の「心の健康教育」の充実に役立つよう、制度の周知に努め、教育相談を実施する。		57.9%	36.8%	5.3%	0.0%	3.5	3.3	
				26 「心の健康教育」推進のために、教育相談に関する研修を計画的に行い、カウンセリング・マインドの涵養に努める。		68.4%	31.6%	0.0%	0.0%	3.7	3.3	
				27 教職員の人権意識を高めるため研修会等を計画的に実施する。		47.4%	31.6%	21.1%	0.0%	3.3	3.1	
				28 国際理解教育の推進や人権意識の高揚のため、HRや学校行事などを活用し、「人権教育」を計画的に実施する。		42.1%	36.8%	21.1%	0.0%	3.2	2.7	
いじめの予防、早期発見・早期対応に努め、いじめのない安全・安心な学校づくりに努める。	いじめの予防、早期発見・早期対応に努め、いじめのない安全・安心な学校づくりに努める。	いじめの予防、早期発見・早期対応に努め、いじめのない安全・安心な学校づくりに努める。	29 いじめ防止基本方針についての研修を通して、いじめに対して毅然とした態度で臨む指導を徹底する。	生徒指導部	57.9%	36.8%	5.3%	0.0%	3.5	3.3	多様な生徒の特性を理解するために、高砂市障がい者基幹相談支援センターと連携した研修や、生徒の進路選択に関する相談を実現することができた。また、多文化共生センターとも連携して、外国籍生徒に対する支援についても実現することができた。ただし、これらの生徒を含めた共生の社会の実現をいかに生徒に理解させ取り組ませるかについては、次年度以降の課題としたい。	
			30 未然防止及び早期発見のために、いじめに対する教職員の資質能力の向上を図る校内研修など、年間の指導計画を策定する。		26.3%	63.2%	10.5%	0.0%	3.2	3.0		
			31 いじめの疑いがある事実を把握した場合やいじめを察知した場合は情報の収集、記録情報の共有、いじめの事実確認を行い、迅速にいじめの解決に向けた組織的対応を構築する。		63.2%	36.8%	0.0%	0.0%	3.6	3.5		
令和3年度 学校関係者評価委員会からの提言		<p>・評価が低かった(3)(5)(20)を除くと概ね高評価となっています。強みはほとんど伸ばす形で、総合力を高められると良いと思います。但し、研修会は定期的に開催されることを期待します。</p> <p>・私自身、会社経営にあたり「常に対象は人」であることを強く思い、日々の行動(人に対して)を心がけております。そのことがきっちり重点項目として記載されており素晴らしいと思います。先生方全員が同じ想いで日々行動(人に対して)頂ければ更に進化(生徒・保護者・地域が大きく変化⇒進化)すると思えます。</p> <p>・コロナの中、色々と制限もあり活動自体が厳しい中、生徒・保護者からのアンケートでもポイントアップしており頑張っておられると感心致しました。学校前公園での喫煙、学校周辺での吸殻ポイ捨て禁止指導も継続してよろしく願致します。</p> <p>・先生は兄貴・姉貴のような身近な存在。「なんでも話を聞いてくれて、アドバイスや励ましの言葉をくれる・・・。」そんな、先生がいっぱいいる学校。「松陽は素晴らしい」。目指してください。そんな学校。</p> <p>・なかなか関わらせて頂く機会が少ないですが、学校評議員会の話や夕方、生徒達が楽しそうに登校する姿を見ると、この学校に定時制があって良かったと思います。子どもたちの将来の選択肢が増えるよう生徒数が増え、益々繁栄されていくことを願っています。</p>										